

事業所名

放課後等デイサービスすてーじ

支援プログラム

作成日

7 年 3 月 5 日

法人（事業所）理念		わたしたちは「その人らしくあり続けるために」という想いを基に、自分らしく成長することをあたたかくサポート致します。			
支援方針		お子様が安心して通える場所を提供し、自分らしくありのままの姿で日常を過ごしてもらえたいことを支援いたします。個々の生活や集団生活を営む楽しさや学びを通じて、社会参加や地域交流促進を含め、「今できる事」をサポート致します。			
営業時間		平日 9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		休日 8 時 0 分から 17 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	○お子様の健康チェック（検温や必要によりその他対応）を行います。普段と様子が違う時は随時状態を把握し必要な対応を行います。 ○日常生活に必要な身辺行動を獲得するにあたり、1人1人の特性に応じた生活スキルに関する状況を職員で共有し、必要な支援を通して生活スキルの獲得を目指します。			
	運動・感覚	○安全な環境の元、個々が自由に自分らしく全身を使った遊び（発散）をできる場を確保し、その輪に支援者が交じりお子様の安全と心身の満足を感じられるように支援します。 ○感覚に関する遊びや課題では、個々が持つ苦手分野（運動、感覚過敏、聴覚過敏、その他）を十分に把握し、目的及び目標以外の過剰なストレスを与えないように配慮します。 ○粗大運動から微細運動を通じて得意不得意を問うことなくお子様が「できた」を経験できるようにサポートします。			
	認知・行動	○日常を過ごすことに必要な情報（視覚的見通しや、その他個別に随時誘導）を提供し、求められる生活行動や自身が気付いて行動を起こす流れを丁寧にサポートします。 ○日々の生活の中で、安全に生活できるスキルを培うために、日常的に、安全に関する情報提供や付き添い支援を行います。 ○課題活動を通して、それぞれがもつ能力に合わせ、「今できること」を活かした課題の内容を協議し展開していきます。			
	言語コミュニケーション	○特性に応じた成長段階を共有し、その時に適応できるコミュニケーションの確立を共有します。 ○言葉での意思疎通やコミュニケーションをはじめ、視覚的構造化・写真カード・イラストカード等を用いて、本人が「意思を発信し決定する」ことの導きや経験を積み重ねられるように、様々な方向からサポートを行います。			
	人間関係社会性	○挨拶を主とした対人関係に関するスキル向上を目指します。それぞれの特性に応じた「自分なりの挨拶」または「反応」を見落とさないように配慮し、人と関わる楽しさを導きます。 ○異年齢集団のなかで、ルールや相手の行動や思想を支援者が介在し双方に中継しながら、自己葛藤の軽減や社会における自己肯定感を感じることができきつかけつくりをサポートします。			
家族支援		○お子様の成長段階に応じて保護者の困り感や不安に関し、事業所ができる情報提供や子育て（療育）に関する成功体験等を細かくお伝えし、ご自宅での生活にお役立て出来る事を一緒に考えます。		移行支援	○定期的にご家族や関係機関と連携しお子様の様子や状態を共有します。 ○必要な時期（年度末・卒業期）に合わせ他機関のニーズを受け、業務調整後に、緊密な情報交換やお子様の実習（実体験）をサポートします。
地域支援・地域連携		○常にサービスご利用児が地域との繋がりが参加することにより、最善の利益や経験となることを考え、参加可能と思われる地域行事やその他の社会参加ができる事を協議し保護者や地域に発信します。		職員の質の向上	○療育支援に関する質の向上を目指した研修会参加を促します。また、研修終了後の全職員のフィードバックを大切にし、研修等に参加できなかった職員への周知も徹底します。
主な行事等		○4月 お花見 ○5月 こいのぼり見学 ○6月 あじさい見 ○7月～8月 プール・海水浴、そうめん流し ○10月～11月 コスモス見学・紅葉散策、地域貢献活動 ○12月 クリスマス会、餅つき、門松作り ○1月 初詣、書初め ○2月 節分 ○3月 ひな祭 お別れ会 ○通年 活動計画により社会体験学習や地域参加を行います。			